

『子供は親の鏡』 ドロシー・ロー・ノルト

子供は、批判されて育つと、人を責めることを学ぶ
子供は、憎しみの中で育つと、人と争うことを学ぶ
子供は、恐怖の中で育つと、おどおどした小心者になる
子供は、憐みを受けて育つと、自分をかわいそうだと思うようになる
子供は、馬鹿にされて育つと、自分を表現出来なくなる
子供は、嫉妬の中で育つと、人をねたむようになる
子供は、辛抱強さを見て育つと、耐えることを学ぶ
子供は、正直さと公平さを見て育つと、真実と正義を学ぶ
子供は、励まされて育つと、自信を持つようになる
子供は、褒められて育つと、人に感謝するようになる
子供は、存在を認められて育つと、自分が好きになる
子供は、努力を認められて育つと、目標を持つようになる
子供は、皆で分け合うのを見て育つと、人に分け与えるようになる
子供は、静かな落ち着いた中で育つと、平和な心を持つようになる
子供は、安心感を与えながら育つと、自分や人を信じるようになる
子供は、親しみに満ちた雰囲気の中で育つと、生きることは楽しいことだと知る
子供は、周りから受け入れられて育つと、世界中に愛があふれていることを知る

この詩を書いた**ドロシー・ロー・ノルト博士**、Dorothy Law Nolte は、アメリカ・ロサンゼルス出身 1924年1月12日生まれ、ミネソタ州立大学卒。
40代の終わりに英国国立聖職大学で博士号取得。3人の子どもを持つ母親、2人の孫の祖母であり、ひ孫も6人。2005年11月、家族に見守られながら永眠。